

日新小学校の学校経営

校長 荒川 巖

1. 学校教育目標

進んで学ぶ 心豊かな たくましい子

◎確かな力を身につける子

◎やさしく 正しい子

◎進んで創り出す子

◎健康で ねばり強い子

日新小学校の教育目標は、社会に於ける今日的課題や子どもの実態及び地域の特性を踏まえ、常に未来を指向して設定されてきた。これまでの間に、3回の改訂を行ってきたが、その根底には、自主自立と人間愛の精神が脈々と流れている。

『進んで学ぶ 心豊かな たくましい子』の育成は、知・情・意・体の調和と統一を図る全人的な教育を目指すことを意味している。このことは育成すべき資質能力を明示する新指導要領の方向性とも合致している。これまでの実践と今後目指す方向を見据え、学校目標を設定した。

確かな力を
身につける子

基礎的・基本的な知識や技能、主体的に学びを進めていく資質や能力を身につけた子どもの育成をねらいとしている。そのためには、学びの基礎・基本の確実な定着を図る授業を推進していくことが重要である。

- ◇ 豊かな知識を身につけようと学びを進めている。
- ◇ 問題解決する力を身につけようと努力している。

やさしく正しい子

豊かな心をもって、自分の周りのひと・もの・こととのかかわる力を身につけた子どもの育成をねらいとしている。そのためには、道徳教育を中心として、全教育活動の中で「心の育成」を推進していくことが重要である。

- ◇ 異なる意見や立場を尊重して、協力している。
- ◇ 物事の不思議さや美しさを感じ取ろうとしている。
- ◇ 生命や人権を尊重している。
- ◇ 自分の利害にとらわれず、相手の立場を考えて公正・公平に判断し、行動している。

進んで創り出す子

主体的・創造的に生きていく資質や能力をもった子どもの育成をねらいとしている。そのためには、一人一人の個性を生かしながら活動し、成就感を味わわせる教育活動を推進していくことが重要である。

- ◇ 進んで新しい方法や考えを求め、工夫している。
- ◇ 自分の考えをしっかりともち、やり抜こうとしている。

健康でねばり強い子

心と体を一体としてとらえ、その調和のとれた子どもを育成することがねらいである。そのためには、健康教育の充実とともに、困難に立ち向かう意志や精神力を身につけさせる教育活動を推進していくことが重要である。

- ◇ 自分でめあてをもって進んで心身を鍛えている。

2. 重点目標

『輝きと響き合いの学校』

27年度実践のから

【学力向上】

○ 11月20日、全道、全市から341名の参加者を得て研究会を行った。その際行ったアンケート評価には155人から回答をいただき、95%以上の方が「共に

学び、自らを高めている」「協働しながら学びを深めている」と認めてくださっている。

○ 児童アンケートの「意欲的に学習したか」の問いに(いつもできた58%)(できた33%)、保護者は(いつもできた25%)(できた64%)とわずかではあるが「いつもできた」の項目が向上している。教師は(いつもできた42%)(できた58%)と前年度より大きな成果を捉えている。

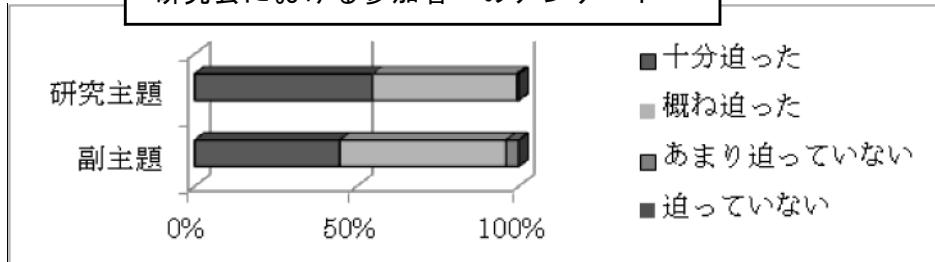
○ 学力学習状況調査では、国語・算数ともに全ての項目が全国平均を上回っている。国語では特にA問題の「読むこと」、B問題の「書くこと」に成果が顕著に表れている。算数では特にAB両問題とも「数と計算」に成果が顕著に表れている

● 学力学習状況調査の理科質問紙において、「理科は将来役立つ」の質問に肯定的回答が本校59.8%であり、札幌市(68.9)全国(74.5)を大きく下回った。また、「理科を学ぶ意義」については本校80.5%であり、札幌市(85.4)全国(86.9)と同様に下回っている。学びの実感や生活に根ざした指導が必要と思われる。

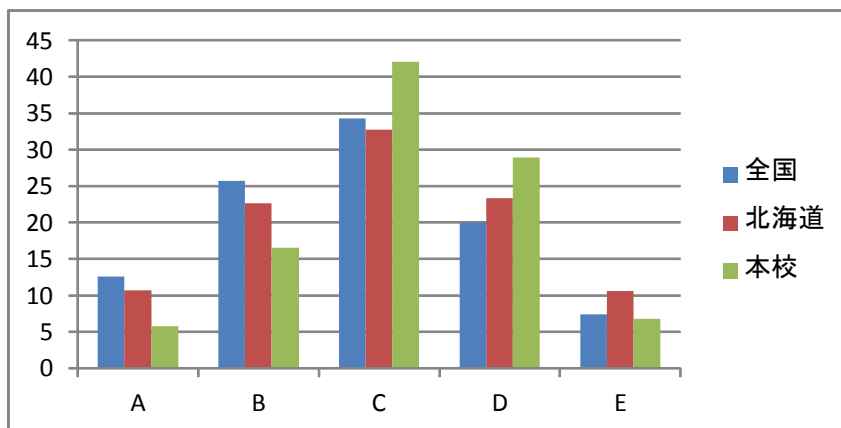
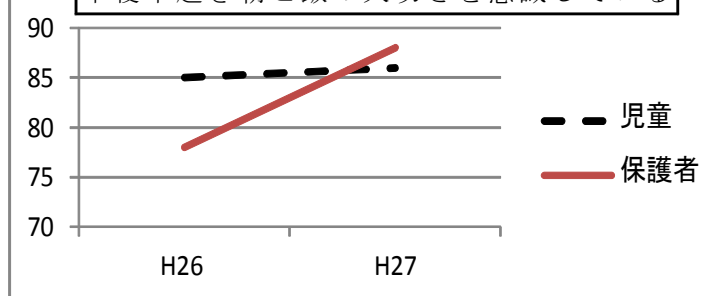
【体づくり】

児童・保護者アンケートでは、「早寝早起き朝ご飯の大切さを意識して生活している」の設問に対し、保護者の回答が78%から88%に向上している。身体を鍛えることだけでなく、子どもの生活リズムづくりの呼びかけを継続したことにより、意識が高まっていることがわかる。今後さらに継続していきたい。

研究会における参加者へのアンケート



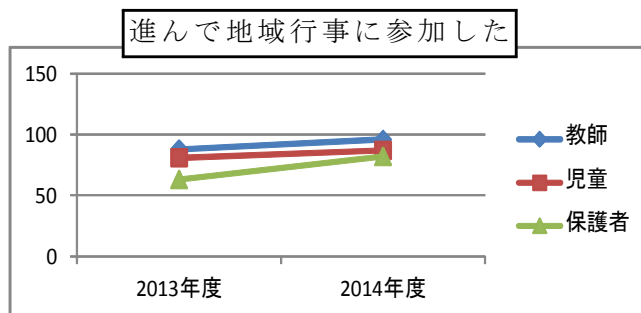
早寝早起き朝ご飯の大切さを意識している



左図は全国体力・運動能力調査の総合評価である。本校の特徴としてAとBの子どもが少なく、CとDの子どもが多い。総合点は道や全国に比してやや劣る程度であるが、Dの子どもたちの基礎的体力運動能力を引き上げることが必要である。

【地域へ飛び出せ】

児童アンケートでは、地域行事への参加が進んでいることがわかる。特に保護者の理解が向上している。しかし、6年生が行った学力学習状況調査の質問紙や5年生が行った札幌市児童アンケートでは『地域行事への参加や関心』について全国平均や札幌市の平均を下回っている。関連して、5年生の児童アンケートでは『海外の人と交流する機会をもちたい』(72%)は本校の結果のなかでは最も低い項目となっている。「地域へ飛び出せ」が子どもの生活に根付きつつあることがわかる。しかし、地域へ飛び出す意味や価値の意識を育てるため、「進路探究学習」など人に焦点を当てた活動をさらに強める必要があると思われる。



「かかわる力」・「かかわろうとする意欲」を育てる

児童アンケートから、地域や友達など他の人々に向かってかかわろうとする意欲が今後さらに望まれることがわかった。また教職員による学校評価においても「心の通ったあいさつ」について話し合った。研究においても、子どもが共に考え合い協働する姿を求め、成果をえると共に、異なる意見を交わし新しい考えをもつ姿に次の課題を見出している。

今年度はこうした人とかかわる意欲を持ち、考え合う力を高めることをさらに大切にしていきたいと考える。これまで実践してきた進路探究学習やこれから始まるとうとする英語活動もこうした力を育むことにつながる。

あいさつや学習への取り組みや地域に飛び出すことが新たな響き合いを生み出す1年にしていきたい。日々の授業でも「かかわる力」「係わろうとする意欲」を育てることを意識していきたい。



子どもの心を支え、育む取組（今後さらに）

喜びを伴う尊重は、自分も相手を尊重した信頼関係の中で得られる。

今年度、担任・養護教諭・総務・校務助手・事務職員・用務員・TT担当・拠点校指導員・管理職がフル稼働し、また外部機関と連携しながら一人の子どもを支える活動を模索してきた。人的保障・時間的保障が足りない中ではあるが、今後も児童理解と個に応じた対応が必要となると共に、いじめ問題を含んだ心の教育がさらに重要性を増す。

現在のように教職員全員が子どもたちを支える「学校担任」としての構えをもつと共に、学びの支援委員会などを通しての情報共有、道徳の充実、日新小学校いじめ防止基本方針に則った諸活動、日新小学校らしいコミュニケーションを育む「ゆう班」の活動を今後も進める。

そこで、子どもの輝きと響き合いを生み育てていくため、以下の具体策をもって次年度の取組に臨みたい。

重点目標具現化のための具体策 1

『学年経営部による学校経営への参画』

～2年にわたり、創造してきた教育課程を具体的に推進するために～

- (1) 教育課程に係わる事項
- (2) 通知表
- (3) 学年学級経営案
- (4) 環境整備
- (5) 子どもの日常を見つめ、心を支え育む活動を推進

重点目標具現化のための具体策 2

『子どもの輝きを支える「日新の学ぶ力育成プラン」』

- (1) 授業研究〈研究会をひとつの目標として〉
- (2) 書く活動の重視
- (3) 自主学習
- (4) 読書の日常化
- (5) 英語教科化への準備
- (6) チャレンジテストや札幌市問題データベースなどの活用
- (7) 漢字検定や算数検定など挑戦の場づくり

重点目標具現化のための具体策 3

『子どもが輝き、響き合いながら取り組む体力づくり』

- (1) 朝運動の継続
- (2) 日新タイム
- (3) カード&認定証の作成
- (4) 「生活リズム表」の活用
- (5) 地域の体育行事等への積極的参加の呼びかけ
ラジオ体操・七夕祭り（なわとび）・桑園縄跳び大会・桑園雪馬まつり

重点目標具現化のための具体策 4

『地域との響き合い「地域へ飛び出せ」』

- (1) 進路探究学習の研究推進
研究成果の更新と新たな開発
- (2) 地域行事への積極的な参加
敬老会・七夕祭り・ろうそくもらい・交通安全啓発運動・イルミネステーション
- (3) 地域の人材・事業所・活動などのさらなる発掘と教材化
- (4) 改めて「あいさつ」を大切にする

重点目標具現化のための具体策 5

『響き合いをつくる 心を支え・育む取組』

- (1) 「私たちの道徳」を使った授業の充実と教科化への準備
- (2) 学年経営部を中心とした子どもの現状把握と心に即した指導の共通理解
- (3) 日新小学校「いじめ防止基本方針」
- (4) 学びの支援委員会
- (5) 「ゆう班」による活動

これらを学年・各部・各職員
・PTA・地域など「チーム日
新」で実現する。